

7月から平和コンセンサス会議 参加の広島市民12人募集

広島市の平和団体「ワールド・ピース・ヒロシマ」(前島修代表)は、被爆60年を過ぎた後の平和都市・広島のある方を考える「平和に関するコンセンサス会議」(広島平和文化センター共催)に参加する市民パネリスト12人を募集している。締め切りは5月27日。

同会議は、同団体の被爆60周年事業として企画。7月11月の計4回、平岡敬・元広島市長や、核兵器廃絶をめざすヒロシマの会の森滝春子共同代表ら5人と市民パネリストが意見を交わし、議論の結果は、12月4日に広島市中区の広島平和記念資料館で開く公開シンポジウムで、提言「ヒロシマの心 これからのヒロシマ」と題して発表する。募集対象は、同市在住の高校生以上。申し込みは〒730-0036 広島市中区袋町6の36 広島市まちづくり市民交流プラザ「コンセンサス会議事務局」。問い合わせは同プラザ(082・5445・391)へ。